

九州農政局管内の 国際水準GAPの取組事例

令和4年3月
九州農政局

も く じ

県名	所在地	番号	認証農場名	認証の種類	個別・団体の別	認証取得農産物
福岡県	上毛町	1	株式会社ユーアス	JGAP	個別	キャベツ
福岡県	古賀市	2	アグリ食品有限会社	JGAP	個別	かいわれだいこん
福岡県	小郡市	3	まぁちゃんファーム株式会社	JGAP	個別	こまつな
福岡県	大木町	4	JA福岡大城しめじ部会	JGAP	団体	ぶなしめじ
福岡県	八女市	5	JAふくおか八女かんきつ部会GAP研究会	JGAP	団体	みかん
福岡県	八女市	6	株式会社中村園	GLOBALG.A.P.	個別	茶・ハーブ
福岡県	八女市	7	有限会社角田製茶	JGAP	個別	茶
福岡県	豊前市	8	株式会社エフワイアグリ	GLOBALG.A.P.	個別	ベビーリーフ
福岡県	北九州市	9	エスジューグリーンハウス株式会社	ASIAGAP	個別	リーフレタス
福岡県	東峰村	10	農事組合法人宝珠山きのご生産組合	JGAP	個別	しいたけ
福岡県	筑紫野市	11	福岡県農業大学校	GLOBALG.A.P.	個別	いちご
福岡県	太宰府市	12	福岡県立福岡農業高校	GLOBALG.A.P.	個別	トマト
福岡県	糸島市	13	有限会社ウラタ農園	ASIAGAP	個別	みずな
福岡県	久留米市	14	みい農業協同組合小松菜部会	JGAP	団体	小松菜
佐賀県	唐津市	15	株式会社グッドリーフ	GLOBALG.A.P.	個別	サラダ野菜
佐賀県	唐津市	16	肥前原木しいたけ工房	JGAP	個別	しいたけ
佐賀県	唐津市	17	たにぐちファーム	JGAP	個別	トマト
佐賀県	唐津市	18	JAからつ唐津地区茶業部会	ASIAGAP	団体	緑茶・ウーロン茶
佐賀県	唐津市	19	株式会社Y.Kカンパニー new	JGAP	個別	水菜・ほうれんそう等
佐賀県	嬉野市	20	清水茶業組合	JGAP	団体	茶
佐賀県	伊万里市	21	JA伊万里GAP部会	JGAP	団体	米

も く じ

県名	所在地	番号	認証農場名	認証の種類	個別・団体の別	認証取得農産物
長崎県	諫早市	22	愛菜ファーム株式会社	GLOBALG.A.P.	個別	トマト
長崎県	諫早市	23	アリアケファーム株式会社	GLOBALG.A.P.	個別	たまねぎ
長崎県	島原市	24	有限会社田中農園	JGAP	個別	ほうれんそう 等
長崎県	松浦市	25	JR九州ファーム株式会社（松浦事業所）	GLOBALG.A.P.	個別	アスパラガス 等
長崎県	雲仙市	26	栗原ねぎ	JGAP	個別	ねぎ
長崎県	雲仙市	27	生産組合 鷹博農園	JGAP	団体	レタス 等
熊本県	玉名市	28	坂上農園	GLOBALG.A.P.	個別	ミニトマト
熊本県	玉名市	29	玉名の米所八十八夜	GLOBALG.A.P.	個別	米
熊本県	玉名市	30	株式会社 鷹本農産 new	GLOBALG.A.P.	個別	ミニトマト
熊本県	西原村	31	こめだ農園	GLOBALG.A.P.	個別	にんじん
熊本県	小国町	32	株式会社下巢畑農産	JGAP	個別	だいこん・かんしょ
熊本県	八代市	33	立石農産	JGAP	個別	ミニトマト
熊本県	宇城市	34	JA熊本うき生姜専門部会G A P研究会	JGAP	団体	しょうが
熊本県	熊本市	35	有限会社土の文化ファーム	GLOBALG.A.P.	個別	ミニトマト
熊本県	熊本市	36	有限会社村川商店／有限会社熊本有機農産	ASIAGAP	個別	にんじん 等
熊本県	山鹿市	37	農事組合法人夢農塩	JGAP	個別	米
大分県	大分市	38	JAおおいたGAP研究会	JGAP	団体	かんきつ 等
大分県	豊後大野市	39	シセイ・アグリ株式会社	GLOBALG.A.P.	個別	白ねぎ
大分県	豊後大野市	40	有限会社育菓産業	JGAP	個別	みつば
大分県	豊後大野市	41	農事組合法人芦刈農産	JGAP	個別	かんしょ
大分県	九重町	42	ここのえ安達農園	GLOBALG.A.P.	個別	ブルーベリー
大分県	宇佐市	43	久保さんちのお米株式会社	JGAP	個別	米
大分県	宇佐市	44	(株)安心院オーガニックファーム new	JGAP	個別	ベビーリーフ・シャンツァイ等

も く じ

県名	所在地	番号	認証農場名	認証の種類	個別・団体の別	認証取得農産物
宮崎県	西都市	45	農家とダイレクト株式会社	GLOBALG.A.P.	個別	ピーマン
宮崎県	小林市	46	有限会社四位農園	GLOBALG.A.P.	個別	ほうれんそう 等
宮崎県	高鍋町	47	JA児湯ティーフクトリー	ASIAGAP	団体	緑茶
宮崎県	西都市	48	株式会社ジェイエイフーズみやざき	GLOBALG.A.P.	個別	ほうれんそう
宮崎県	宮崎市	49	川越製茶	JGAP	個別	緑茶
宮崎県	宮崎市	50	株式会社オーチャードイワマン	GLOBALG.A.P.	個別	マンゴー
宮崎県	宮崎市	51	長友みかん農園 new	GLOBALG.A.P.	個別	かんきつ(せとか)・きゅうり
宮崎県	新富町	52	合同会社オーガニックファームZERO new	ASIAGAP	個別	にんじん・ばれいしょ
鹿児島県	さつま町	53	有限会社熊田製茶	ASIAGAP	団体	緑茶
鹿児島県	薩摩川内市	54	有限会社松田農場	JGAP	個別	きんかん
鹿児島県	東串良町	55	株式会社ローソンファーム鹿児島	JGAP	個別	だいこん 等
鹿児島県	南九州市	56	農事組合法人菊永茶生産組合	ASIAGAP JGAP	個別	茶
鹿児島県	指宿市	57	大吉農園	ASIAGAP	個別	キャベツ 等
鹿児島県	屋久島町	58	有限会社ハラダ製茶農園	GLOBALG.A.P. ASIAGAP	個別	茶
鹿児島県	和泊町	59	株式会社皆村農園	GLOBALG.A.P.	個別	ばれいしょ
鹿児島県	西之表市	60	JA種子屋久西之表市野菜部会協議会青果用さつまいも部会	JGAP	団体	かんしょ
鹿児島県	大崎町	61	有限会社大崎農園	GLOBALG.A.P.	個別	葉ねぎ 等
鹿児島県	大崎町	62	農業生産法人有限会社片平農産	JGAP	個別	だいこん
鹿児島県	大崎町	63	大崎町キャベツ出荷組合	JGAP	団体	キャベツ
鹿児島県	霧島市	64	ヘンタ製茶有限会社	ASIAGAP	個別	茶
鹿児島県	南大隅町	65	JAきもつきミニトマト部会	JGAP	団体	ミニトマト

👉 **GAPの取組**
(個別認証)

株式会社 ユーアス

JGAP

キャベツ

<基本情報>

所在地：福岡県築上郡上毛町

構成員18名：役員4名（うち外部役員1名）
従業員14名（うち海外研修生3名）

<農場概要>

栽培面積：キャベツ10ha

<経営の理念> 「全力農業！ 選ばれるモノづくり、自分づくり」



<GAPの取得のきっかけ>

・組織も拡大し従業員も増え、新たなルール作りに取り組む必要を感じた。



JGAP青果物2016
(2018年2月認証取得)

<GAP認証取得で苦労したこと>

◆生産履歴等の管理

経営管理ソフトを活用し省力化を目指したが、個々のパソコンスキルの違いにより軌道に乗るまで時間を要した。

◆従業員の意識改革

繰り返し研修を行うことにより、従業員の意識改革を醸成。



<GAP認証取得による効果や改善されたこと>

◆整理整頓や生産履歴等の管理でコスト削減

- ・段ボール、肥料、農薬等の生産資材の在庫管理を徹底することにより無駄な支出が減少。
- ・生産履歴の管理を徹底し、安定した生産を実現

◆従業員の意識の変化

生産に対する自信と意欲の向上。

◆会社の信用度がアップ

求人の応募数が増加。



<今後の課題>

◆意識の継続

- ・GAPは認証取得がゴールではない。リスクに対する意識を継続して持ち続けることが重要。
- ・ヒヤリハット事例を朝礼等で情報共有。

<問い合わせ先> 0979-72-1395 <http://www.youasufarm.jp/>

👉 **GAPの取組**
(個別認証)

アグリ食品有限会社

JGAP

かいわれだいこん

＜基本情報＞ 所在地：福岡県古賀市
構成員30名：役員5名+社員5名+パート20名
〈農場概要〉
栽培面積：かいわれだいこん 6.6a



商品パッケージ・製品ケース

交代勤務で
GAP頑張っ
ています！



GAPに取り組むメンバー

＜GAP取得のきっかけ＞

1996年～「かいわれ
大根生産衛生管理マ
ニュアル」による管理

自分達に合った
衛生管理を充実
したい。

JGAP青果物2010
(2012年5月認証取得)

＜GAP認証取得で苦労したこと＞

◆ 認証審査までの準備

・かいわれ大根生産衛生管理マニュアルを、該当するJGAPの項目にあてはめる作業に時間を要した。

◆ 管理チェック項目の増加・記録項目の増加による帳票管理、担当者の教育

◆ 管理作業手順の統一

→ 写真入り栽培管理マニュアルの作成



整理整頓された施設

＜GAP認証取得による効果や改善されたこと＞

◆ クレームへの対応

・生産工程表の作成により、異物混入等の問い合わせに対し、迅速で確実な対応が可能となり、相手先からも、より信頼を得られるようになった。

◆ 品質が一定化

・栽培管理マニュアルに沿った作業を行うことで、作業者による品質のばらつきがなくなった。

◆ 従業員の意識向上

・目につく場所にチェック項目リストを掲示することにより、自然に従業員の意識が変化し、作業場の雰囲気よくなった。



見取図・チェック表

＜今後の意向＞

◆ GLOBAL G.A.P.の取得

・取引先の親会社GFSIのメンバーであることから、GFSIに承認されているGLOBAL G.A.P.をいずれ取得したい。

＜問い合わせ先＞

092-943-7349

👉 G A P の取組 (個別認証)

まあちゃんファーム株式会社

JGAP

こまつな

<基本情報>

所在地：福岡県小郡市

構成員 8 名：ご夫婦 + 社員 1 名 + パート 1 名 + 実習生 4 名

<農場概要>

栽培面積：こまつな 1.5ha (年 6 作)

<経営の理念>

「安全で安心できる作物を第一に考え、こまつなの本当のおいしさを提供できる農園づくり」

一緒に働く仲間に
笑顔のある農園！



問い合わせ先はこちら↓↓↓

携帯:090-8418-7518、URL:<http://www.mfc11831.jp/>

<G A P の取得のきっかけ>

- ・安全・安心で本当のおいしさを追求
- ・普及指導センターからの勧め



J G A P 青果物 2010
(2012年 9 月 認証取得)

<GAP認証取得で苦労したこと>

■ 関係書類の作成

G A P 認証の申請当時は、関係書類のひな形がなく、一つ一つの項目を考えるのに相当時間を要した。

■ 片付け・配置

- ・まずは不要な物を捨てること。
- ・安全・衛生面を考慮した動線の確保。

■ 意識の改革

- ・意識改革には 5 年を要した。
- ・「食品を扱っている」という意識づくり。
- ・G A P 認証を取得して終わりではない。
- ・作業効率よりも、安全・衛生面を優先させる。



<GAP認証取得による効果や改善されたこと>

- 取引先の増加
⇒取引先との信頼関係が深まった。
- 生産履歴・作業履歴の記帳
⇒より安定した生産。
- 整理整頓・忘れ物や 2 度買いの減少
⇒コスト削減。
- 従業員とのコミュニケーション
⇒食事会等を行うことで意思疎通が深められた。
- 普及指導員や農政局とのつながり
⇒最新情報の取得。



消費者様の笑顔を想像しながら
ガンバル農園づくりを続けます！

👉 **GAPの取組**
(団体認証)

J A 福岡大城しめじ部会

構成員

JGAP

ぶなしめじ

<基本情報>

所在地：福岡県三潞郡大木町

構成員：9事業所

<農場概要>

栽培品目：ぶなしめじ

<経営方針>

「信頼される農場づくり」



安心・安全な
しめじ生産に
取組んでいます。

- ・農事組合法人 きのこの里
- ・農事組合法人 ふる里の森
- ・農事組合法人 秋香園
- ・農事組合法人 ドリームマッシュ
- ・有限会社 きのご秋萌
- ・農事組合法人 きのご工房
- ・農事組合法人 豊地の郷
- ・農事組合法人 マッシュシティ
- ・農事組合法人 モアハウス

<GAPの取得のきっかけ>

- ・ブランディング
- ・取引先との信頼関係



JGAP青果物2016
(2017年12月認証取得)

<GAP認証で苦勞や改善されたこと>

◆関係書類の作成(個別認証→団体認証)

GAP認証の申請について、今まで各生産法人で必要な書類を作成し申請を行っていたため、相当時間を要していた。



◆意識の改革

無意識に行っている作業を可視化することで、自分たちの生産作業を見直すことができ、従業員に意識付けできるようになった。



<GAP認証取得による効果>

- ◆整理整頓の徹底
 - ⇒バイヤー等の見学者受入れ
 - ⇒異物混入の不安が軽減
 - ⇒安全面でのPR
- ◆団体認証を受けたことにより
 - ⇒部会内での切磋琢磨
 - ⇒部会内での品質に対する意識の共有
 - ⇒品質の向上



自信を持って販売できる

自信を持って
商談できました



Food EXPO Kyushu2018に出店

<問い合わせ先>

J A福岡大城 営農経済部 直販課 0944-32-1346

👉 G A Pの取組 (団体認証)

JAふくおか八女かんきつ部会GAP研究会

〈問い合わせ先〉 J Aふくおか八女 園芸指導部 園芸指導課 0943-23-1163

JGAP

みかん

<基本情報>

所在地：福岡県八女市

構成員：13名

<農場概要>

栽培面積：**みかん** 42ha（内訳：極早生15.5ha、早生10.3ha、普通15.1ha、中晩かん1.1ha）

<経営の理念>

「安全・安心・甘い八女**みかん**を消費者に届けよう」

JGAP団体認証取得申請メンバー！
(撮影時に4人のメンバーが不在でした。)



<G A Pの取得のきっかけ>

取引先の量販店からの取得依頼



JGAP青果物2010
2016年 認証取得

<GAP認証取得で苦労したこと>

■生産履歴の管理

JGAPの団体認証を青年部で申請しており、**農薬保管や倉庫内の整理整頓**について**父親との認識違い**。(要、不要の線引き)

■労働環境の整備 (ハード面の設置に係る導入経費等)

安全性を確保するための、資材導入や
証明書の確保に関わる**経費増大**。

■リスク評価 (食品安全、農作業安全等)

各農場におけるリスク評価において、各構成員が自覚しているものの、それを**文書化することに慣れていない**。



農薬の保管状況のチェック

<GAP認証取得による効果や改善されたこと>

■取引先の信頼確保

⇒**今まで以上に産地としての信頼確保**

⇒**より安定した生産・販売数量**

■従業員の意識の変化

⇒**経営者としての自覚の向上**

⇒**安全な農産物の生産**

■労働環境の整備

⇒**農作業事故防止の意識向上**



安全・安心・甘い八女**みかん**を消費者の
皆さんへお届けします。



G A P 研究会
持丸会長

👉 **GAPの取組**
(個別認証)

株式会社 中村園

GLOBALG.A.P.

茶・ハーブ

<基本情報>

所在地：福岡県八女市

構成員：5名（繁忙期に臨時雇用が若干名）

栽培面積（認証取得面積）：茶圃場 9.8ha（6.4ha）

ハーブ圃場 62a（50a）



【経営理念】

「良質な食品を増やすことで、豊かで健康的な食生活を実現する」

<GAPの取得のきっかけ>

- ・農産物を生産する者として**必然性**
- ・地域の担い手として、率先して取り組む**必要性**



GLOBALG.A.P.
(2018年2月茶認証取得)
(2018年12月ハーブ認証取得)

<GAP認証取得による効果や改善されたこと>

- ◆取引先とのつながり
⇒GAP認証取得が自負となり、バイヤーや製造メーカーと真摯に交渉ができ取引に繋がったことで、規模を拡大。
- ◆適切な労務管理
⇒日々作成した作業記録のデータを活用することで、作業効率が向上。
- ◆情報共有の重要性
⇒朝礼や全体会議による情報共有により、作業員の意識改革や安全意識を確立。
- ◆管理作業の正確さ
⇒クレーム対応等の訓練を繰り返し行ったことで、重要なリスクが把握でき、農作業の正確さが向上。



<GAP認証取得で苦労したこと>

◆生産履歴の管理

- ・要求される項目と日常の栽培作業の各項目との洗い出し。
- ・現場で使いやすい記録様式の作成。

◆労働環境に対する意識

- ・手の消毒、防除時のマスク着用等のルール作成。
- ・ルールの必要性を作業員へ適切に理解させる。

◆リスク評価

- ・傾斜度や栽培環境の適切なリスク管理内容の把握。
- ・把握した内容をリスク評価し、作業員全員に理解させる。



問い合わせ先はこちら⇒TEL:0943-24-9099、FAX:0943-23-2105

👉 **GAPの取組**
(個別認証)

(有) 角田製茶

OKUYAME KAKUDA SEICHA
角田製茶

JGAP

茶

<基本情報>

所在地：福岡県八女市上陽町北川内187-3
構成員：6名（役員3名、従業員3名）
栽培面積：12ha

【経営理念】

栽培から最後の仕上げまで丁寧に自園自製で製造し、いち早くJGAP認定茶農場として、安全・安心・高品質なお茶作り。



<GAP認証取得による効果や改善されたこと>

- 農場の整理整頓ができ、安全・安心の農場管理ができた。
- 製品のランクに関係なく、GAPの取組が徹底できている。
- 取引先から何を求められているか分かるようになった。
- 取引先からの信用が高まり契約販売による、一定量の取引が確保されている。
- できていなかった商談交渉の土俵に上られるようになった。



【今後の意向】

- 旨味の強いお茶の価値を国内外に認めて貰い販路拡大を図る。
- 海外への販路拡大に応じGLOBALG.A.P認証取得を検討。

<問合せ先>

TEL 0943-54-3751、FAX : 0943-54-3758
<http://www.kakudaseicha.com>

<GAP認証取得のきっかけ>

- 福岡県主催の学習会で、**これからはGAPが必要になる**ことを知り、**誰よりも早く認証取得**したい。
- 先代からの経営譲渡をきっかけに、生産工程の管理手法を確立したい（従業員の指導にも役立つ）。
- 商談時の交渉手段の一つ**となると確信。

JGAP認証取得 ⇒ 平成22年2月

<GAP認証取得で苦労したこと>

- 10年前の認証取得時は、参考になる資料がなく管理帳簿などを独自で作成。
- リスク管理の対応策の洗い出し。
- 摘採機や荒茶・製茶機械操作マニュアルの作成・掲示。
- 労災などの労務管理に伴う資格取得。



👉 **GAPの取組**
(個別認証)

株式会社エフワイアグリ

GLOBALG.A.P.

ベビーリーフ

<基本情報>

所在地：福岡県豊前市荒尾464
 構成員：27名（うち役員3名）
 栽培面積：ベビーリーフ400a（ハウス82棟）、露地野菜150a
 農産物の生産、加工、販売
 【経営理念】「未来にあたらしい種をまく！」



<GAPの取得のきっかけ>

・取引先からの要請に加え、最先端の農業経営を目指して、会社創設当初からGAP認証取得を見据えることで、社員の意識教育にも繋がると考えた。



2019年4月 GLOBALG.A.P. 認証取得

<GAP認証取得への取組>

鰻の加工業から農業分野への参入であり、GAPの管理点は食品加工事業者としてHACCPに沿った衛生管理の経験があったため、抵抗なく取り組むことが出来た。



<GAP認証取得による効果や改善されたこと>

◆従業員の意識向上

・創設当初から事業展開としてGAP認証取得を掲げたことにより、GAPをすることがスタンダードだという社員の意識付けができた。

◆安全安心の担保

・各作業工程のルールによる農作業事故の未然防止効果や衛生管理の徹底による安全安心な農産物生産への意識向上

◆コスト削減

・整理整頓を行うことで、物品管理が容易になり資材等の計画的な発注に繋がっている。



今後も継続して取り組むことで、信頼構築を図り収益向上を目指す。

👉 **GAPの取組**
(個別認証)

エスジーグリーンハウス株式会社

ASIAGAP

リーフレタ
ス

<基本情報>

所在地：福岡県北九州市若松区

構成員：128名（正社員14名、パート114名）

栽培面積：リーフレタス、ケール 2ha（ハウス4棟）

ハウスによる水耕栽培、人工光型植物工場及び太陽光併用型植物工場

【経営理念】「食の安全・安心を提供し、人を良く育もう」



<GAPの取得のきっかけ>

- ・東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機としたGAP認知度の高まりにより、優位に販売できると判断。
- ・輸出に際し、有利に契約するため。

2018年7月 ASIAGAP認証取得

<GAP認証取得による効果や改善されたこと>

◆ 従業員の意識向上

- ・従業員のリスク管理の意識が向上し、特に衛生管理が徹底された。

◆ コスト管理の徹底

- ・安価な深夜電力の有効活用を行う。
- ・水耕栽培に必要な養液を循環させる。

◆ 商品や会社に対する信頼性の向上

- ・商談時にPRでき、取引先の信頼確保に繋がった。

<GAP認証取得で苦労したこと>

- ◆ 管理すべきチェックポイントの把握と従業員の意識改善
- ◆ 取得に必要な資料の作成

GAPの管理点に沿った資料の整理に苦労。

⇒コンサルタントからの指導により克服



【今後の展開】
HACCPの認証
取得を目指す！



👉 **GAPの取組**
(個別認証)

農事組合法人 宝珠山きのこ生産組合

JGAP

しいたけ

<基本情報>

所在地：福岡県朝倉郡東峰村

構成員：13名（役員5名+パート（通年雇用）8名）

栽培面積：しいたけ 540㎡、年間生産（出荷）数量：80t

【経営理念】

「人の命を支えるため、「安心・安全・美味しい」が揃ったものづくりに励みたい！」

組合のGAP担当、川村倫子です。

お母さん方に働きやすい
農場を目指しています！



<GAPの取得のきっかけ>

消費者にとって、安心して購入できる農場でありたいとの思いから。

➡ JGAP 青果物2016
(2018年7月認証取得)

<GAP認証取得で苦労したこと>

■ 片付け・配置

- ・作業効率を考慮した整理整頓。
- ・安全・衛生面を考慮した配置。

■ 意識の改革

- ・「安心して購入して頂く」という意識づくり。
- ・作業効率の重視よりも、安全・衛生面を優先させる。

■ 災害による認証取得の延期

平成29年7月の九州北部豪雨により自宅及び施設の一部が被害を受けたことで認証取得が先延ばしとなったが、組合員一丸となって対応した。



<GAP認証取得による効果や改善されたこと>

■ 整理整頓で安全性確保

⇒使用するハサミの保管箱を作り、食品・労働安全の確保。

■ みんなの議論で改革を

⇒「なぜ、どうしてもやらなくちゃいけないの？」を「こういう風にやろう！」へ意識改革により、安全意識の向上。

■ 職場環境の変化

⇒見学者の増加により、整理整頓の習慣の徹底と作業工程の再点検。

■ 取引先とのつながり

⇒バイヤーの反応が良くなり、販路開拓への可能性が拡大。



問い合わせ先はこちら

⇒<https://kinokokumiai.or.jp/company/>

👉 **GAPの取組**
(個別認証)

福岡県農業大学校

GLOBALG.A.P.

いちご

<基本情報>

所在地：福岡県筑紫野市大字吉木767番地
全校学生：87名（うち野菜コース イチゴ班13名）
栽培面積：いちご（あまおう）7a



【教育理念】「**科学的かつ経営的視点に立って、農業技術はもとより、農業経営や流通販売等の総合的な学習を行い、学生の潜在能力を引き出す**」

<GAPの取得のきっかけ>

・将来の農業を見据えたカリキュラムの取組みにより、学生の意欲を高め、地域を牽引する人材育成を図る。

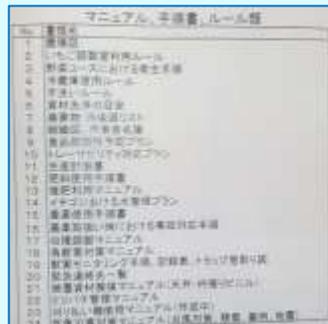


GLOBALG.A.P.
(2019年3月認証取得)

<GAP認証取得で苦労したこと>

◆リスク評価（食品安全・環境整備等）

- ・危険場所や危険な物を排除するためのリスクの洗い出し。
- ・学生が対応策を検討し、手順書やマニュアルの作成、管理体制を構築すること。
- ・日々の作業記録作成の習慣化に時間を要した。
- ・倉庫の整備・改修が必要となった。



◆学生の意識付け

- ・GAPの取組みへの学生のモチベーション維持。

<GAP認証取得による効果や改善されたこと>

◆リスク管理の徹底

- ・リスクを共有でき、**作業の効率化と安全な作業**が可能となった。
- ・圃場や施設の清掃、整理整頓の取り組みが、イチゴ班から**野菜コース全体に浸透**した。

◆学生の意識の変化

- ・学生が主体的に取り組んだことで、**自信と意欲が向上する**など、**学生の意識改革につながった**。

<今後の課題>

◆校内でGAPの普及

- ・イチゴ以外のコースで「**県GAP**」にチャレンジ。

◆意識の継続

- ・日々の取組の中で改善点を見つけて、ルールやマニュアルを作成し、さらに**レベルアップ**を目指していく。

<問い合わせ先> 092-925-9129 <http://fuknodai.jp/>

👉 **GAPの取組**
(個別認証)

福岡県立福岡農業高等学校

GLOBAL G.A.P.

トマト

<基本情報>

所在地：福岡県太宰府市大佐野250

全校生徒：459名（GAP取組：都市園芸科選抜メンバー6名）

栽培面積：トマト（品種：CF桃太郎ファイト）

1a（認証取得済）→2.4a（認証更新予定）

【教育理念】校訓「土を耕し、心を耕し、未来を耕す」に基づいた学校経営を行う。

土を耕すとは知（学力、学習意欲）、心を耕すとは徳（人格、道徳心）、未来を

耕すとは夢（自己実現）のことであり、本校の教育理念とする。



<GAPの取得のきっかけ>

文部科学省のスーパープロフェッショナルハイスクール事業の指定（H26～30）、福岡県教育委員会よりGAPモデル校の指定を受け課題研究に取組（H30）

→ GLOBAL G.A.P.
(2019年3月認証取得)

<GAP認証取得で苦労したこと>

◆意識改革・関係書類の作成・環境整備等

- ・生徒、職員の意識改革とモチベーションの維持。
- ・指導者側の知識不足を補うための指導者研修。
- ・認証取得には民間コンサルタントの指導が必要だった。
- ・圃場・選果場の整理・整頓と改善・整備に時間を要した。
- ・認証に向けての資料等の作成。



<GAP認証取得による効果や改善されたこと>

◆意識の変化・教育環境の整備

- ・実習前後の手洗いの徹底。
- ・日常の買い物で食の安全を意識。
- ・生徒自ら労働安全を意識し独自に改善。
- ・施設設備、選果場等の整理整頓による作業効率向上。
- ・GAP取組継続により大きな教育効果が期待。
- ・認証取得1年目であるが、年数を重ねることで前例より改善・改良がより進むと期待。



<今後の取組>

- ◆トマトの栽培面積拡大と栽培（収穫）期間延長
- ◆校内および福岡県内農業高校への取組発信と視察指導者育成研修受け入れ

<問い合わせ先> 092-924-5031 <http://fukuoka-agr.fku.ed.jp/>

👉 GAPの取組 (個別認証)

有限会社 ウラタ農園

ASIAGAP

みずな

<基本情報>

所在地：福岡県糸島市志摩小富士2406

構成員：23名

(役員1名、正社員2名、パート15名、外国人研修生5名)

栽培面積：みずな 2.2ha (ハウス70棟) ハウスによる周年栽培

【経営理念】「農明」農業で明るく

(農業を通じて、①安心安全な商品を提供することで消費者が健康で明るく

②従業員への物心を明るく ③地域を明るく)

ASIAGAP指導員
になりました。



代表の
浦田氏

<GAPの取得のきっかけ>

「経営管理」、「従業員の
意識向上」を目指して



ASIAGAP
(2018年4月認証取得)

<GAP認証取得による効果や改善されたこと>

◆従業員の意識向上

・従業員一人一人の責任の明確化、リスク管理の意識向上。

◆経営者としての自覚

・経営者としての全体管理の見える化が少しずつ改善。

◆商品や会社に対する信頼性の向上

・商談時に商品の特徴をPRできた。

・今後、更に認知度が向上することで、商談相手の反応も良くなることを期待。

<GAP認証取得で苦労したこと>

◆資料作成、資料整理、整理整頓、土壌分析、水質検査
農薬検査等やるべき事務量が膨大。

◆圃場や作業場の改修 (お金をかけず工夫でクリア)。

◆外国人研修者でも対応できるよう写真やイラストで手順
書を作成。

◆従業員へGAPの意識付け (時間をかけて理解させ浸透を
図った)。

◆朝礼時に職場全員
への目配り
及び確認。



<今後の取組>

◆外国人労働者の確保。

◆ASIAGAP認証農場ロゴマークの使用禁止に伴い、今後は
「ウラタ農園」の認知度を広げる戦略へ変更。

◆販路拡大のため輸出へ取組む。

◆若手農家の人材育成を通して地域に貢献。



<問い合わせ先> 092-328-0155 E-mail:urata@fukuoka.email.ne.jp

👉 **GAPの取組**
(団体認証)

みい農業協同組合 小松菜部会

JGAP

小松菜

<基本情報>

所在地：福岡県久留米市北野町十郎丸3-4（園芸流通センター 小松菜部会）

構成員：16戸

栽培面積：35ha

【経営理念】

新しいことをチャレンジ

経営者としてのリスク管理（適正な人材管理・在庫管理などから導入）



<GAP認証取得のきっかけ>

○GAP認証農産物を求める**市場ニーズ**に対応し、**販路拡大**を狙う。

○認証を取得し、**他の小松菜産地との差別化**を図る。

○**生産者**のリスク管理等への**意識改革**を目指す。

JGAP認証取得 ⇒ 平成27年6月

<GAP認証取得による効果や改善されたこと>

○整理整頓が徹底されるようになった。

○作業管理ソフトにより作業記録のデータ管理が容易になった。

○国際水準GAP認証ありきの食品加工業者との契約ができるようになった。

○農業者や従業員の**労働安全への意識が向上した**。

○**データ管理**により、**迅速なレスポンス**が可能となった。

「今後の意向」

○輸出は国際情勢で大きく影響するため、国内販売のみに重きを置き、国内での消費拡大を目指す。



<GAP認証取得で苦労したこと>

○部会員（全農場）の**意思統一や意識改革**

○農作業・資材管理等の運用マニュアルの作成

○**雇用者へのデータ管理の徹底**

○記憶・経験の記録化

○帳簿等の**書類作成**（他県への研修を実施）

○**外国人労働者への教育**



<問合せ先>

TEL: 0942-23-1710、FAX: 0942-23-1715

<http://www.ja-mii.com>

👉 **G A Pの取組**
(個別認証)

株式会社 グッドリーフ

GLOBALG.A.P.

サラダ野菜

<基本情報>

所在地：佐賀県唐津市

【経営概要】 役員2名・従業員 11名(うち外国人技能実習生(女性)1名)

【農場概要】 栽培面積：48 a (リーフレタス等サラダ野菜の周年出荷)

パートナー農場：3園 95 a

[(株)エバーグリーン、(株)サンファーム、ライフグリーン]

【経営理念】 「人の健康と地球環境に配慮したおいしい野菜の提供」



<G A Pの取得のきっかけ>

◆ 民間就業体験から、農業経営改善にもGAPが必要不可欠との経営判断



2007年 J G A P 取得
J G A P 認証佐賀県第1号

2014年
GLOBALG.A.P.取得

<GAP認証取得による効果や改善されたこと>

◆ 従業員の意識・品質の向上

クレーム対応を作業手順書に明記するとともに、クレーム処理のシミュレーションを会社全体で年1回実施することで、**従業員の意識向上、商品の品質向上**に寄与。

◆ 受注量の増大

GAPに沿った農場運営が大手量販店Nストア等に評価され、**受注量が拡大**。

◆ 生産工程の見える化による作業効率化と適正な在庫管理

経験と勘に頼る作業管理から作業手順をマニュアル化し、責任者の配置、毎日の作業の記帳を徹底することで、**作業の効率化、適正な在庫管理**を実現。

<GAP認証取得で苦労したこと>

◆ 作業手順のマニュアル化と従業員への指導・徹底
作業手順をマニュアル化し、全従業員へ意識付け。
パートナー農場への波及(3農場もJGAP取得)。

◆ 生産システムの開発と履歴の管理
自社独自の生産システムを開発。作業責任者にはタブレット端末を付与し、データによる作業管理を徹底。



グッドリーフ農場ルール
2011年12月16日策定
2013年11月1日改定

生物学的危害

- 1 作業前には石鹸を使い、手洗いをする。
- 2 トイレの後には手洗いをする。
- 3 手、指にケガがある時はゴム手袋を必ず着用する。
- 4 作業時は帽子、エプロンを着用する。
- 5 カゼ、伝染病、の人は作業には参加しない。
- 6 農薬、肥料を扱った後で調整作業はしない。
- 7 コンテナ、はさみは使用後洗浄、殺菌をする。
- 8 農場内のゴミは特定の場所へ管理する。
- 9 作業室は作業後必ず清掃する。
- 10 植物残渣は毎日特定の場所に廃棄する。

化学的危険

- 1 農薬散布、肥料混合後はすぐに片付け、手洗い、着替えなど行う。
- 2 調整室内には農薬、肥料を保管しない。
- 3 収穫車を収穫以外の事に使用した場合は必ず洗浄する。
- 4 農産物搬送の場合は専用のコンテナを使用する。
- 5 秤、はさみ、などは他の目的に使用しない。

物理的危険

- 1 農場内では喫煙はしない。所定の場所で喫煙する。
- 2 作業時には安全靴は必ず着用する。
- 3 農場内では飲食しない。

👉 **G A Pの取組**
(個別認証)

肥前原木しいたけ工房 (中山 茂廣)

JGAP
しいたけ

<基本情報>

所在地：佐賀県唐津市

〈経営概要〉 家族経営 + 農福連携 (就労継続支援 B 型事業所)

〈農場概要〉 所属農場：1 農場

栽培規模：原木30,000本(年間生産量約 2 トン)

生産商標：山鮑 (やまあわび：大型しいたけ)

〈経営理念〉 「持続可能な環境保全型農業を通じた社会貢献」



<G A Pの取得のきっかけ>

◆農商工連携のパートナー
会社と東京オリパラへの食
材提供を目指す



2017年 JGAP認証
日本能率協会による J G A P 認証

<GAP認証取得で苦労したこと>

◆労働環境の整備 (ハード面の導入経費等)

- ・乾燥施設の改修、燃料タンクの集約と屋外設置。
- ・作業施設の整理・整頓、林業資材との区分。

◆G A P 基準に沿った作業工程の就労者への指導

- ・スタッフ(事業所職員)へ作業に当たっての手順や決め事を習熟してもらい、就労者へ徹底。



<GAP認証取得による効果や改善されたこと>

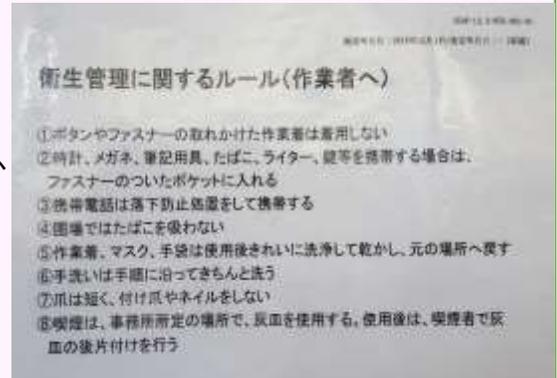
◆自身の栽培・作業管理意識の向上

- ・原木栽培にこだわり栽培を続けているが、G A P 基準に沿った栽培、乾燥工程を取り入れたことにより、**自身や作業員の安全確保、安心・安全なしいたけ生産への意識の向上と商品への自信。**

<今後の目標>

◆東京オリパラへの食材採用、輸出

- ・パートナー会社と連携し、**東京オリパラへの食材提供**を目指す。食材として採用されれば、県内の同業者への波及を図り、安定した生産体制をつくり**輸出も検討。**



👉 **GAPの取組**
(個別認証)

たにぐちファーム

TANIGUCHI FARM
RICOTOMATO
SAGA

JGAP

トマト

<基本情報>

所在地：佐賀県鹿島市納富分1780

構成員：3名（夫婦2名、パート1名）

栽培面積：トマト 20a（カラフルミニトマト6種、大玉1種）

（カラフルミニトマトは、ぼかし肥料をベースに、栽培期間中は有機物100%の肥料を使用。）

【経営理念】

トマトの美味しさや安全・安心にこだわり、手間ひま惜しまず徹底した管理のもと、ひとつひとつ愛情込めて育てる。子供の安全を考えた生産を行う。

『当ファームのブランド名“RICOTOMATO”（リコトマト）は、トマトが苦手な子供から大人までRICOTOMATOの“とりこ”になってほしいという気持ちを込めています。』



<GAP認証取得のきっかけ>

○**子供の誕生**により、安全・安心な食品を提供したいという思いから、**安全・安心な農場であることを証明するため、国際水準GAPであるJGAP認証を取得。**

⇒ **令和2年4月JGAP認証を取得**

<GAP認証取得による効果や改善されたこと>

- 徹底した農場管理を行うことで、**安全・安心の農場**であることが**証明できる**。
- ホテルやスーパーとの**取引のきっかけ**となり、**販路拡大**に繋がった。
- 整理整頓が格段に改善され**農作業事故などのリスクが分かる**ようになった。

「今後の意向」

- ・ **契約取引による販路拡大**
- ・ **自慢のトマト**を出身地（大阪）に届け、**“とりこ”にする**。
- ・ 子供達の農業体験の場を設けたい。

<問合せ先>

TEL：080-6476-6834

<https://www.taniguchifarm.jp/>

<GAP認証取得で苦労したこと>

○JGAP認証取得に係る膨大な資料作成

○リスク評価の項目が多く、生産から出荷の工程において、普段気がつかないリスクを洗い出し対応策を考え実践すること。



👉 **GAPの取組**
(団体認証)

J Aからつ唐津地区茶業部会

ASIAGAP

緑茶(生葉、荒茶)
ウーロン茶(生葉、荒茶)

<基本情報>

所在地：佐賀県唐津市

構成員：組合員 26名

栽培面積：75ha

品目：茶 生葉1,160t 荒茶250t

【経営理念】身近なお茶のことをもっとよく知ってもらい、
『唐津茶』を日本一の銘茶に育てたい。



<GAPの取得のきっかけ>

取引先からの要望 ⇒平成25年7月 JGAP取得
⇒平成30年11月 ASIAGAP取得

<GAP認証取得で苦労したこと>

◆ 部会員の取組意識の醸成

- ・ JGAP取得の際、現状の茶価が維持できないばかりか、取引先も振り向いてくれないのではないかと危機感があり、部会長が部会員を説得し、部会全員が取得

◆ 環境整備 (ハード面の設置にかかる導入経費)

◆ ASIAGAP規則に対する理解

- ・ JGAPの経験があり、移行は容易と考えていたが、用語等難しい部分があった。
⇒ ASIAGAP指導員の差分研修を受講



<GAP認証取得による効果や改善されたこと>

■ 販売単価の維持

- ・ 茶の価格が低迷する中、GAP認証を取得したことにより、市況を上回る単価を維持。更新費用に充てることができた。

■ 生産履歴の把握

- ・ 部会全員が取り組んだことにより、全員の生産履歴が把握でき、トレーサビリティが容易に。

■ 部会員の意識向上

- ・ 「整理整頓ができた」
- ・ 「在庫管理がしやすくなった」
- ・ 「自分が生産した茶葉に自信が持てる」



👉 **GAPの取組**
(個別認証)

株式会社Y. Kカンパニー

JGAP

水菜・ほうれんそう
小松菜・たまねぎ

<基本情報>

所在地：佐賀県唐津市浜玉町
構成員：役員及び正社員3名、パート12名、海外研修生2名
栽培面積：16ha（内、ハウス2.5ha（100棟））



【経営理念】

私たちは、笑顔を耕していく企業を目指しております。

<GAP認証取得のきっかけ>

○東京オリ・パラに食材提供することを目的に、GAP認証を取得した。

また、オリ・パラ終了後も、「安全・安心のものさし」として、GAPは重要であると考え、引き続き取り組んでいる。



JGAP認証取得 ⇒ 2016年10月

<GAP認証取得で苦労したこと>

- 審査関係の書類作り。
- 栽培管理に関する帳票作り。
- パート従業員へのGAPの考え方を教えること。

〈問合せ先〉 TEL 0955-56-6966
HP <http://ykcompany.co.jp/>

<GAP認証取得による効果や改善されたこと>

○GAPの考え方に基づく、ハウス100棟の栽培記録をデータ化することで、品質の良い野菜を安定的に生産し実需者との契約販売に繋がっている。

○パート従業員の各個人の意識が向上し、現在では、肥料担当、農薬担当など役割分担が出来上がり、作業効率の向上に繋がっている。

○GAPを通じた、県内外の生産者との現地視察等の交流を行い、同じ意識を持つ仲間が増えた。



<今後の意向>

○現在の生産面積の収量を上げて、その後、規模拡大を計画的に行い、地域農業に貢献して行きたい。

👉 **GAPの取組**
(団体認証)

しみず 清水茶業組合

JGAP

茶

<基本情報>

所在地 佐賀県嬉野市

TEL(茶工場): 0954-43-2614

〈経営概要〉組合員 17名

〈農場概要〉所属農場: 18農場 (組合員17農場、組合所有 1 農場)

栽培面積: 33ha (成園31ha)

栽培品種: ヤブキタ、オクミドリ、オクユタカ、サエミドリ

〈経営理念〉「地域の気象特性を活かし、消費者へ安心・安全なお茶として認められる産地づくり」



<GAPの取得のきっかけ>

◆取引先の手飲料メーカー
K社からの要請



2015年 JGAP団体認証
インターテックによるJGAP認証

<GAP認証取得による効果や改善されたこと>

◆整理整頓による作業効率化や在庫管理でコスト削減

- ・組合員の農業倉庫や加工施設で整理整頓が徹底され、**農作業準備、後片付け等の時間短縮**、また、加工工程での**作業効率も向上**。
- ・農薬、肥料等資材の在庫管理で**無駄な支出が減少**。
- ・異物混入や残留農薬へのリスク対応研修により、**製品(荒茶)の品質向上**。

◆茶園での農作業の安全管理点の見える化

- ・農作業における注意事項を茶園単位で掲示したことにより、組合員の**農作業農機具事故が大幅に減少**。
- ・毎年自己点検を行いリスクの検証・改善。
- ・農作業事故への対応のため普通救命講習の受講。

項目	内容	状況	備考
1	農作業時の安全確認	実施済み	
2	農機具の点検	実施済み	
3	農薬の取り扱い	実施済み	
4	茶園の安全管理	実施済み	
5	農作業の安全管理	実施済み	

<GAP認証取得で苦労したこと>

◆全組合員の取組意識の醸成

◆労働環境の整備 (ハード面の導入経費)

- ・農薬保管庫、集荷加工工場の改修・機器の増設等。

◆生産履歴の管理

- ・施肥・防除、収穫等の作業日報への記帳徹底。

◆リスク評価 (農作業安全)

- ・全ての圃場の農作業事故防止への注意点 (圃場間の段差、農業機械の搬出入路) を改めて点検・整理。



👉 **GAPの取組**
(団体認証)

JA伊万里GAP部会

JGAP

米 (ホシユタカ)

<基本情報>

所在地：佐賀県伊万里市立花町1290-1
 構成員：JA伊万里青年部 20名
 栽培面積：米 (ホシユタカ (長粒種)) 7ha



ホシユタカ



【経営理念】

伊万里産「ホシユタカ」のブランド化に向け、生産者、JA及び試験研究機関が連携し、栽培指針を定め高品質で安定した生産に取り組み、認知度向上と消費拡大に向けた活動を展開する。

耕作放棄地の解消とニーズにあった作付けを行う。

「生産したものを売る」から「売れるものを作る」に変える。

<GAP認証取得のきっかけ>

- 関東の**米穀小売店**から佐賀県を通じ、炒飯やカレーなどに適した**長粒米「ホシユタカ」の栽培提案**があり、伊万里市が栽培地となった。
- 国際水準GAP認証**が、**東京オリ・パラへの食材提供の要件**となったこと。

⇒ **令和元年9月 JGAP団体認証取得**

<GAP認証取得による効果や改善されたこと>

- 地域において、**GAPに対する意識が高まり、他の部会でも取組を検討**するようになった。
- 物品の**整理整頓**や**安全確認**を行うようになった。
- JAの他の倉庫**でも、リスク管理を行うなど、**組織全体への波及効果**があった。
- これまで、**勘に頼っていた生産管理**を**見える化、デジタル化**し、伝えることができるようになった。

【今後の意向】

- 輸出**を視野に入れた**販路拡大**。
- 販売先のニーズに合わせたGAP認証取得。
- JA伊万里全体**での**国際水準GAPの認証取得**。

<GAP認証取得で苦労したこと>

- 生産者の**理解を得て意識を変えること**。
- 市・JAと連携したGAP認証取得の推進体制を確立するため、「伊万里・有田地区GAP地域推進協議会」を設立したこと。



<問合せ先>

TEL : 0955-23-5560

レシピコンテンツを開催し、消費者へGAPと長粒米をPR

